KENWOOD

マルチコントロールMDレシーバー

M707

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーション
の米国および外国特許に基づく許諾製品です。

© PRINTED IN JAPAN B64-1206-00(MC)
99/2 1 98/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

CONTENTS

●安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

●使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

●操作のしかた

ALL MODE〈共通操作〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

TUNER MODE〈FM/AM放送を聴く〉 ・・・・・・・・・・・・・・・18

MD/CD MODE〈本機でMDプレイを楽しむ/D707を操作する〉・・・・20

TAPE MODE〈X707を操作する〉 ・・・・・・・・・・・・・・・・24

DISC CHANGER MODE〈ディスクチェンジャーを操作する〉・・・・28

TV MODE〈TVチューナーを操作する〉 ・・・・・・・・・・・・・32

NAME SET MODE〈放送局やディスクにネームをつけて登録する〉・・34

SBF MODE〈ネームやタイトル/テキストでディスクや放送局を選ぶ〉 ・・36

REMOTE CONTROL MODE〈リモコンで操作する〉 ・・・・・・・・38

●接続のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

●取り付けのしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

●ヒューズ交換のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

●故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46

●保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

●仕様一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。
お読みになった後は必要なときにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

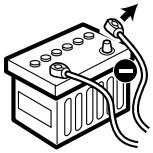
⚠警告

禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V㊀アース車専用です。

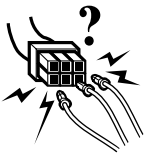
実施

配線作業中は、バッテリーの㊀端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

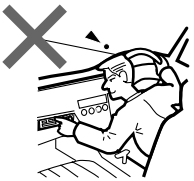


禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げになる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当るなど、怪我の原因となります。

⚠警告

禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠警告

実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実施

運転者が各種設定や調整などの操作をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

禁止

ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

実施

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止

製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

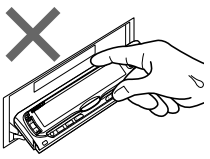
実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

⚠ 注意

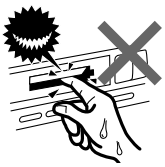
禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれて怪我をすることがあります。



禁止

ディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

禁止

ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。

注意

本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

禁止

リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りにおこなってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。

禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

接続

本機には下記の別売品ユニットを接続できます。

- ❖ DSPグライコCDプレヤー“D707”または DSPグライコカセットプレヤー“X707” をいずれか1台のみ
  D707、X707のDSP/イコライザーなどの操作はD707、X707の操作ボタンで行います。
  操作のしかたはD707、X707付属の取扱説明書をご覧ください。
- ❖ CD-ROMチェンジャー“C710、C510※1” CDチェンジャー“C706、C506※1” MDチェンジャー“MD56※1” を2台まで
- ❖ モニターTV“LCD-M66※1”を1台
- ❖ ナビゲーションシステム“GZ-1000※1”を1台

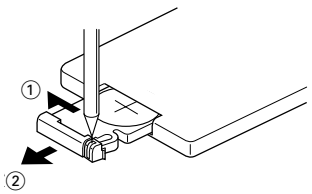
※1別売のBUS変換ボックス“CA-57ZX”が必要です。DNPS（ディスクネームプリセット）機能（36ページ）は使用できなくなります。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

カードリモコンの電池について

カードリモコンをご使用になる前に次の手順で電池を入れてください。
ペンの先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。
付属のリチウム電池 (CR2025)を電池ボックスの表示にしたがって⊕と⊖を間違えないように入れてください。
電池が消耗した場合も同様に新しい電池と交換してください。



セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

結露について

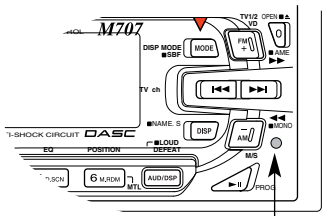
寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露（水滴）がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなることがあります。
このような場合は、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはセンターユニットのリセットボタンを押してください。

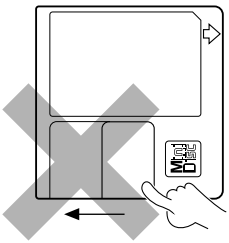
セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。



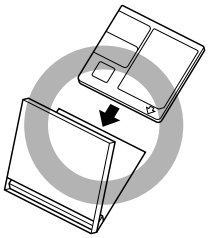
MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分に指が触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



MDの保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



MDのお手入れ

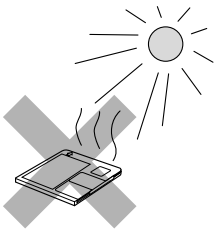
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
（お手入れの際、シャッターを開かないようご注意ください。）

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



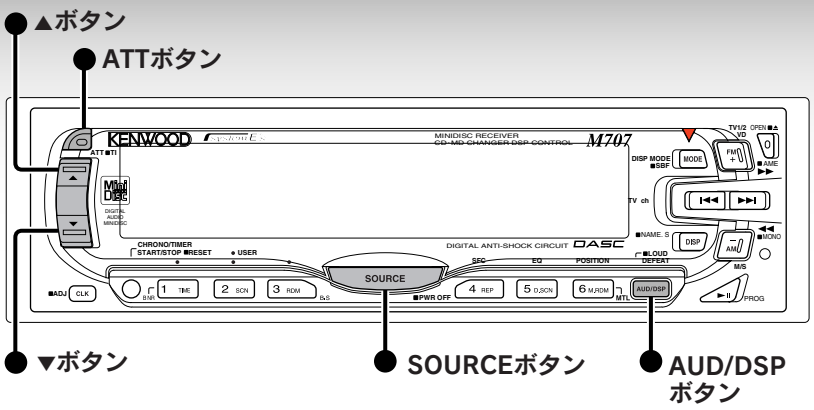
データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

ALL MODE



1 電源オン *—電源を入れる—*

SOURCEボタンを押すと電源がオンになります。

❖ MEMO ❖

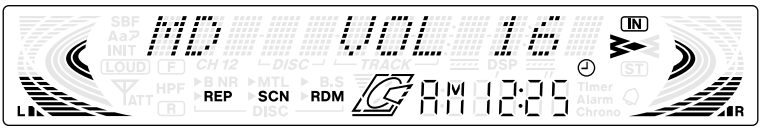
前に電源をオフしたときのソースモードになります。

2 電源オフ *—電源を切る—*

SOURCEボタンを**1秒以上**押すと電源がオフになります。

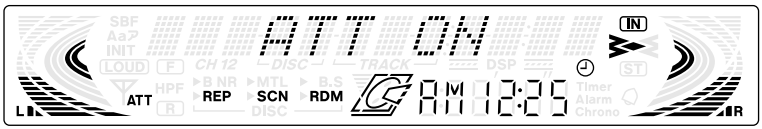
3 ボリューム *—音量を調整する—*

▲ボタンを押すごとに音量が大きくなります。
▼ボタンを押すごとに音量が小さくなります。



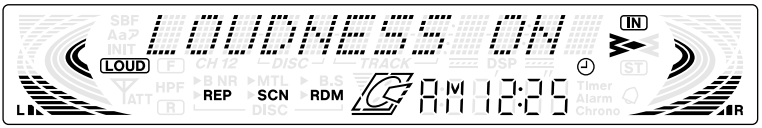
4 アッテネーター *—音量をすばやく小さくする—*

ATTボタンを押すごとにアッテネーターがオン/オフします。
オンすると**ATT**インジケーターが点滅して音量が瞬時に小さくなります。



5 ラウドネス *—小音量時にメリハリのある音質にする—*

AUD/ DSPボタンを**1秒以上**押すごとにラウドネスがオン/オフします。
オンすると LOUD インジケーターが点灯して高音と低音が強調された音質になります。



❖ MEMO ❖
チューナーは低音のみ強調された音質になります。

6 ソースモード選択 *—聴きたいソースに切り替える—*

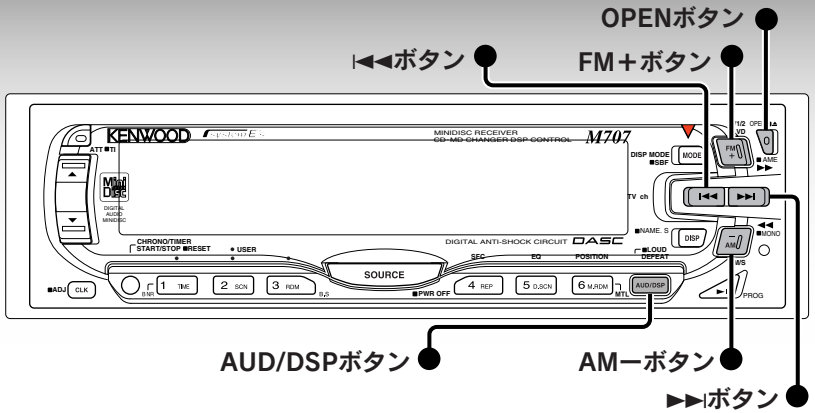
SOURCEボタンを押すごとにソースモードが下記の順に表示されます。

TUNER（TUNER MODE：FM/AM放送を聴くモード）
MD（MD MODE：MD演奏を聴くモード）
TAPE（TAPE MODE：テープ演奏を聴くモード） ※X707接続時
または
CD（CD MODE：CD演奏を聴くモード） ※D707接続時
CD-CH/MD-CH（DISC CHANGER MODE：ディスクチェンジャー演奏を聴くモード）
※ディスクチェンジャー接続時
TV（TV MODE：TV放送を聴くモード） ※LCD-M66接続時
NAVIGATION（NAVIGATION MODE：ナビゲーションシステムにセットされたディスクを聴くモード） ※ナビゲーションシステム接続時
ALL OFF（電源オンのまま機能を一時的に停止させるモード）

選択したモードは表示で確認できます。

❖ MEMO ❖
- 本機にMDが入っていないときや、ディスクチェンジャーが接続されていないときは「MD」、や「CD(MD)-CH」は選択できません。
- TAPE MODEはDSPグライコカセットプレヤー" X707" を接続して、カセットテープが挿入されている場合に選択できます。
- CD MODEはDSPグライコCDプレヤー" D707" を接続して、CDが挿入されている場合に表示されます。
- CDチェンジャーを接続している場合は「CD-CH」、MDチェンジャーを接続している場合は「MD-CH」と表示されます。
- CDチェンジャーを2台接続している場合は「CD-CH1」⇨「CD-CH2」と切り替わります。
- MDチェンジャーを2台接続している場合は「MD-CH1」⇨「MD-CH2」と切り替わります。
- TV MODEは別売のTVモニター" LCD-M66 "を接続している場合に選択できます。（接続にはBUS変換ボックスが必要です。）
- NAVIGATION MODEは、ナビゲーションシステム接続している場合に選択できます。（接続にはBUS変換ボックスやBUS変換ケーブルが必要です。）
- ナビゲーションシステム"GZ-1000"内の音楽CD切り替えはGZ-1000のディスクリスト画面で行ってください。
- ナビゲーションシステムと共有している外部CD-ROMチェンジャーはナビゲーションシステムでCD-ROMを選択すると、本機でCD-ROMチェンジャー内のディスク切り替えができません。本機でディスク切り替えをしたい場合は1度ナビゲーションシステムで音楽CDに切り替えてから、本機を操作してください。

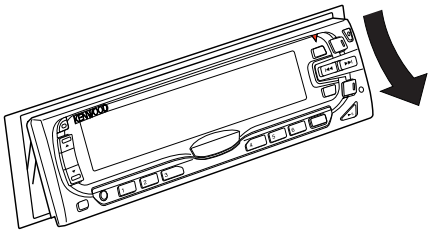
ALL MODE



7 操作パネルアングル調整 *－ディスプレイが見やすい角度に調整する－*

● 操作パネルをスライドさせる

OPENボタンを押すごとに操作パネルが1ステップずつ3段階までスライドします。



● 操作パネルを閉める

3段階目の位置で**OPENボタン**を押すと、操作パネルが閉まります。

❖ MEMO ❖

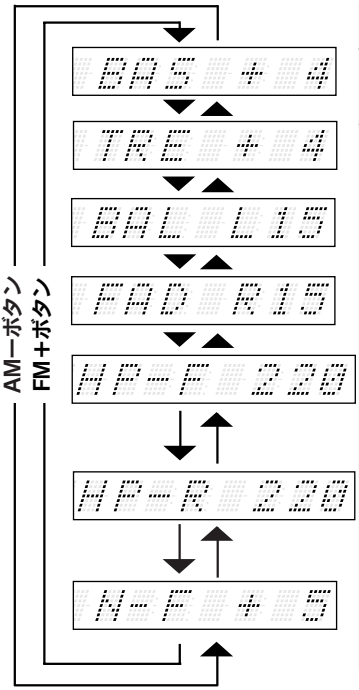
- 本機の電源をオフ、または車両のエンジンキーをオフにすると、自動的にパネルが閉まります。
- 調整したアングル位置は自動的にメモリーされます、次回電源をオンにしたときに再調整する必要はありません。
- 操作パネルがスライドした状態でご使用になる際に操作ボタンを強く押すと、保護機能が働いて操作パネルが閉まる方向に動くことがあります。

注 意

- 操作パネルのスライド動作中に指などを挟まないようご注意ください。
- 操作パネル角度調整時およびMDの出し入れ時にシフトレバーなどにディス操作パネルが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。
- スライドした操作パネルに無理な力をかけないでください。また、操作パネルを手動で動かさないでください。故障の原因になります。
- 取付角度、温度によりスライド位置が変わる場合があります。

8 オーディオコントロール *—オーディオの各種設定—*

1. **AUD/DSPボタン**を押すとオーディオ調整モードになります。
2. **FM+ボタン**または**AM−ボタン**を押すごとに調整項目が下記の順に切り替わります。
3. **|◀◀ボタン**または**▶▶|ボタン**を押すと設定が変更できます。
4. **AUD/DSPボタン**を押すとオーディオ調整モードが終了します。

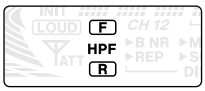


|◀◀ボタン	▶▶|ボタン
低音減衰 ◀----------▶ 低音増強 -4 ～ 0 ～ +4		
高音減衰 ◀----------▶ 高音増強 -4 ～ 0 ～ +4		
左側強調 ◀----------▶ 右側強調 L15 ～ 0 ～ R15		
リア側強調 ◀----------▶ フロント側強調 R15 ～ 0 ～ F15		
フロント出力のハイパスフィルター周波数設定 OFF(HPFオフ) ⇔40Hz⇔60Hz⇔80Hz⇔ 100Hz ⇔120Hz ⇔150Hz⇔180Hz⇔ 220Hz		
リア出力のハイパスフィルター周波数設定 OFF(HPFオフ) ⇔40Hz⇔60Hz⇔80Hz⇔ 100Hz ⇔120Hz ⇔150Hz⇔180Hz⇔ 220Hz		
ノンフェーディング 出力減衰 ◀----------▶ ノンフェーディング 出力強調 -35 ～ 0 ～ +5		

❖ MEMO ❖

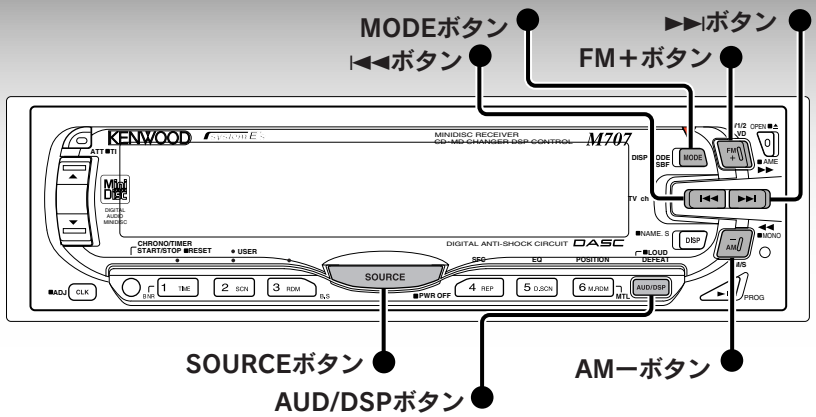
- 低音、高音の設定は各ソースモードごとにメモリーできます。(DSPユニット未接続時)
- バランスインジケーター（**L** **R**）は以下の場合に表示されます。
  - **L** **R** ともに表示　：バランスがセンターに調整されている。
  - **L** のみ表示　：バランスが左側に調整されている。
  - **R** のみ表示　：バランスが右側に調整されている。

- ノンフェーディング(N-F)とはフェダー（FAD）で前後に調整してもレベルが変化しない出力で、おもにサブウーファー用パワーアンプを接続するときに使用します。
- ハイパスフィルター（HPF)の周波数を選択すると、HPFインジケーターおよび F（フロント)、R（リア）インジケーターが点灯して、表示している F、R インジケーターのスピーカーおよびプリアウトの低音域（選択した周波数）がカットされます。



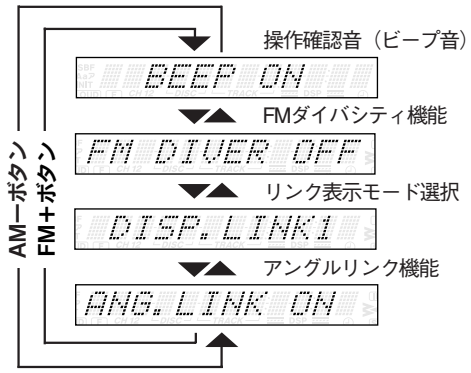
- 別売品のDSPユニット"D707"や"X707"を接続した場合は「BAS」が「NBAS」、「TRE」が「NTRE」表示になり、ノンフェーディング出力の低音、高音調整になります。
  フロント/リアスピーカーおよびフロント/リアプリアウトの音質調整はDSPユニットのイコライザーで調整してください。
- 10秒間以上何も操作しないと、オーディオ調整モードは自動的に解除になります。

ALL MODE



9 ファンクションセット ―システムを設定する―

1. SOURCEボタンを押して「ALL OFF」を表示させます。
2. AUD/DSPボタンを押すとファンクションセットモードになります。
3. FM＋ボタンまたは**AMーボタン**を押すごとに設定項目が下記の順に切り替わります。
4. |◀◀ボタンまたは**▶▶|ボタン**を押すと設定が変更できます。
5. AUD/DSPボタンを押すとファンクションセットモードが終了します。



|◀◀ボタン	▶▶|ボタン
鳴らさない *OFF*	◀--------▶	鳴らす *ON*
使わない *OFF*	◀--------▶	使う *ON*
本機が上 *LINK1*	◀------▶	本機が下 *LINK2*
連動しない *OFF*	◀--------▶	連動する *ON*

❖ MEMO ❖

- 設定項目の表示は、お買い上げ時の設定です。
- アングルリンク機能は本機の操作パネルをスライドさせるとD707、X707の操作パネルも連動してスライドさせる機能です。（D707、X707を接続している場合に表示されます。）
- FMダイバシティ未対応車でも別売品のアンテナとダイバシティ変換プラグ（CA-83U）を使用すると、 FMダイバシティの効果を得ることができます。くわしくはカーオーディオカタログをご覧ください。
- リンク表示モードはD707、X707を接続している場合に、本機の取り付けがD707、X707の上か下かで本機とD707、X707のディスプレイリンク表示モードを切り替える機能です。（D707、X707を接続している場合に表示されます。）
- 操作確認音（ビープ音）はスピーカー端子およびプリアウト端子からは出力されません。

10 アナライザーモード切り替え *－好みのアナライザー表示にを切り替える－*

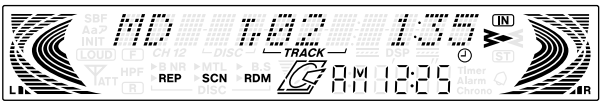
MODEボタンを押すごとに、左右のアナライザー表示モードが下記の順に切り替わります。

レベルメーター表示

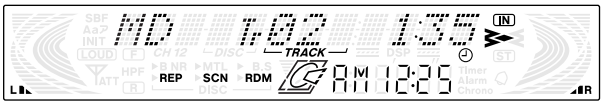
アナライザー表示1

アナライザー表示2

全灯表示

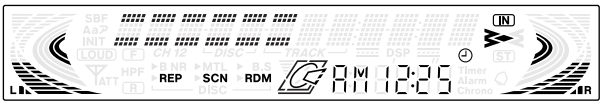


オフ

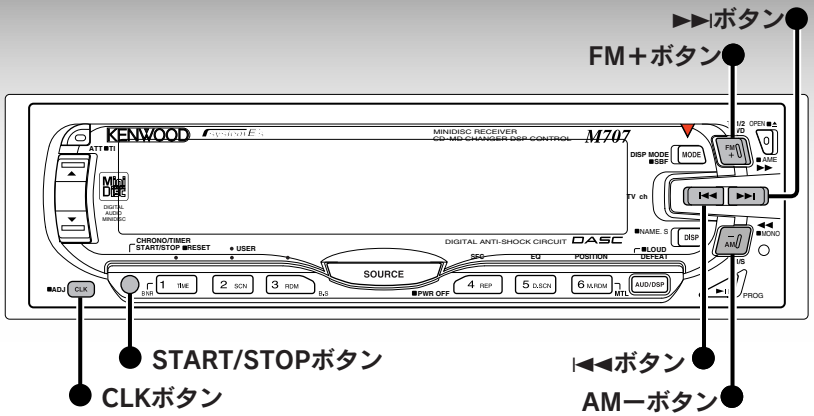


❖ MEMO ❖

- DSPユニット"D707"、"X707"接続時は、DSPユニットのアナライザー切り替えで「LINK 1」または「LINK 2」を選択している場合に本機でアナライザーモードの切り替えをすると、DSPユニットの「LINK 1」または「LINK 2」は解除になります。
- **DISPボタン**を押すとソース表示部がキャラクターやレベルメーター表示に切り替わります。詳しくは各ソースモード説明の「表示モード切り替え」をご覧ください。



ALL MODE



11 時間表示の切り替え *ー時間モードを切り替えるー*

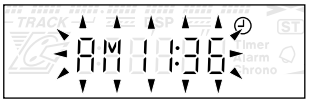
CLKボタンを押すごとに下記の順に表示され、時間モードが切り替わります。

▶*CLOCK*（時計モード）▶*STOP WATCH*（ストップウオッチモード）▶*TIMER*（タイマーモード）
ALARM（アラームモード）◀

●時計モード

1. **CLKボタン**を押して「CLOCK」を選択します。

2. **CLKボタン**を**2秒以上**押すと時刻表示が点滅して時刻調整モードになります。



3. 以下の操作をして時刻を調整します。

◆ **“時”の調整**
FM+ボタンを押すごとに"時"が進み、**AMーボタン**を押すごとに"時"が戻ります。

◆ **“分”の調整**
►►Iボタンを押すごとに"分"が進み、**I◄◄ボタン**を押すごとに"分"が戻ります。

☞ **START/STOPボタン**を**1秒以上**押すと“分”が00分になります。
（30分以上を表示している場合は1時間くり上がった00分になります。）

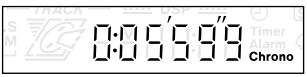
4. **CLKボタン**を押すと時刻がセットされ時刻調整モードが終了します。

❖ MEMO ❖
- “分”を調整すると、秒が“00”になり時刻調整モードが終了後カウントを開始します。
- 時計表示中は 🕘 インジケーターが点灯します。

●ストップウオッチモード

1. **CLKボタン**を押して「STOP WATCH」を選択します。

2. **START/STOPボタン**を押すとカウンターがスタートします。



3. カウント中に**START/STOPボタン**を押すとカウンターがストップします。

4. **START/STOPボタン**を押すと続きからスタートします。

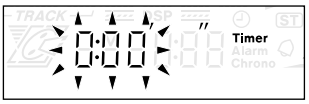
☞ カウンターがストップ中に**START/STOPボタン**を**1秒以上**押すとカウンターが「0 : 00 ' 00 "0」に戻ります。

❖ MEMO ❖
ストップウオッチ時間を表示中は**Chrono**インジケーターが点灯します。

●タイマーモード

1. **CLKボタン**を押して「TIMER」を選択します。

2. **CLKボタン**を**2秒以上**押すと時間表示が点滅してタイマー時間調整モードになります。



3. 以下の操作をして時間を設定します。

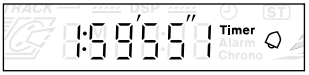
◆ **“時”の調整**
FM+ボタンを押すごとに"時"が進み、**AM−ボタン**を押すごとに"時"が戻ります。

◆ **“分”の調整**
►►Iボタンを押すごとに"分"が進み、**I◄◄ボタン**を押すごとに"分"が戻ります。

☞ **START/STOPボタン**を**1秒以上**押すと「0 : 00」に戻ります。

4. **CLKボタン**を押すと時間がセットされタイマー調整モードが終了します。

5. **START/STOPボタン**を押すとタイマーがスタートして時間が減算していきます。



6. カウント中に**START/STOPボタン**を押すとカウンターがストップします。

7. **START/STOPボタン**を押すと続きからスタートします。
「0 : 00 ' 00 "」になると、**Timer**インジケーターが点滅してビープ音が鳴ります。

☞ **START/STOPボタン**を**1秒以上**押すと、カウンターが**3.**でセットした時間に戻ります。

❖ MEMO ❖
- タイマー時間を表示中は**Timer**インジケーターが点灯します。
- タイマーをカウント中は🔔インジケーターが点灯します。

●アラームモード

1. **CLKボタン**を押して「ALARM」を選択します。

2. **CLKボタン**を**2秒以上**押すと時刻表示が点滅してアラーム調整モードになります。

3. 以下の操作をして時刻を設定します。

◆ **“時”の調整**
FM+ボタンを押すごとに"時"が進み、**AM−ボタン**を押すごとに"時"が戻ります。

◆ **“分”の調整**
►►Iボタンを押すごとに"分"が進み、**I◄◄ボタン**を押すごとに"分"が戻ります。

☞ **START/STOPボタン**を**1秒以上**押すと“分”が00分になります。
（30分以上を表示している場合は1時間くり上がった00分になります。）

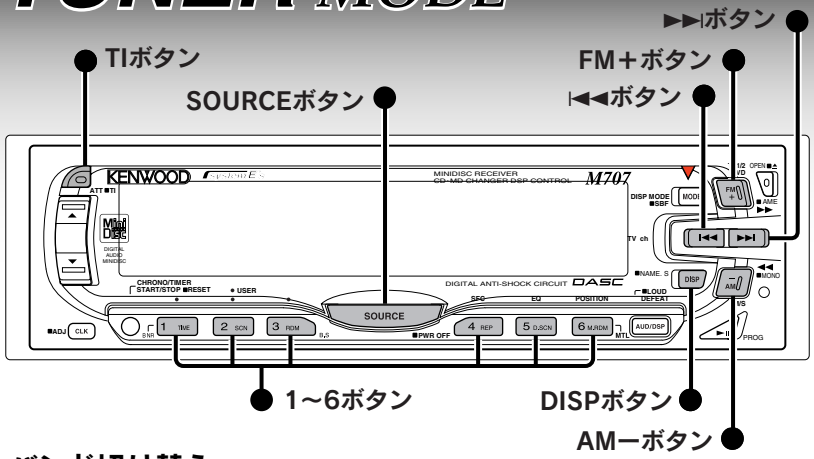
4. **CLKボタン**を押すとアラーム時刻がセットされ、アラーム調整モードが終了します。

5. **START/STOPボタン**を押すごとにアラームがオン/オフします。
オンするとアラーム時刻に、**Alarm**インジケーターが点滅してビープ音でお知らせします。

❖ MEMO ❖
- アラーム時間を表示中は**Alarm**インジケーターが点灯します。
- アラームをオンにすると🔔インジケーターが点灯します。
- 本機の電源がオフのときは1度アラームが鳴りますが、翌日以降も電源がオフの場合はアラーム機能は動作しません。

禁止 運転者は走行中に各時間モードの設定や調整を行わないでください。事故の原因になります。

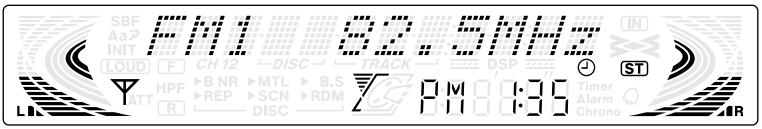
TUNER MODE



1 バンド切り替え *ー聴きたいバンドを選ぶー*

1. SOURCEボタンを押して「TUNER」を選択します。現在の受信周波数が表示されます。
2. FM+ボタンを押すごとに「FM1」と「FM2」が切り替わります。
AMーボタンを押すごとに「AM1」と「AM2」が切り替わります。

選択したバンドが表示されます。



2 チューニング *ー放送局を選ぶー*

● **マニュアルチューニングで選局する**
I◄◄ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。
►►I ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

● **オートチューニングで選局する**
I◄◄ボタンを**0.5秒以上**押すと周波数の低い方へ自動的に受信状態の良い放送局を探して受信します。
►►I ボタンを**0.5秒以上**押すと周波数の高い方へ自動的に受信状態の良い放送局を探して受信します。

FMステレオ放送を受信すると ST インジケーターが点灯します。

3 オートメモリー *ー自動的に受信状態の良い放送局を探してメモリーするー*

1. FM+ボタンまたは**AMーボタン**を押してメモリーしたいバンドを「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」から選びます。
2. FM+ボタンを**2秒以上**押すと「AUTO MEMORY」と表示され、オートメモリーを開始します。
現在受信状態の良い放送局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。

❖ MEMO ❖
6局メモリーするか、周波数を一周して選んだバンドに受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。

4 マニュアルメモリー *—聴いている放送局をマニュアルでメモリーする—*

放送局を受信中に**1〜6ボタン**のいずれかを**2秒以上**押すと、押したボタンに現在聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。
各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。

5 メモリー呼び出し *—メモリーした放送局を呼び出す—*

メモリーボタン1〜6のいずれかを押すとメモリーNo.が表示され、オートメモリー、マニュアルメモリーでメモリーした放送局に切り替わります。

6 強制モノラル受信 *—ノイズを少なくして聴く—*

FM放送を受信中に**AMーボタン**を**1秒以上**押すごとにモノラル受信がオン/オフします。
オンにすると「MONO ON」と表示され、▽インジケーターが点滅して、FMステレオ放送の音声がモノラル音声に切り替わります。

7 交通情報 *—交通情報を受信する—*

● **交通情報を聴く**
TIボタンを**1秒以上**押すと「TRAFFIC」と表示され、交通情報がオンになります。

● **受信周波数を切り替える**
I◀◀または▶▶I**ボタン**を押すごとに受信周波数が下記のように切り替わります。

⇄ 1620 kHz ⇄ 1629 kHZ ⇄ 522 kHz ⇄

❖ MEMO ❖
- 交通情報はどのソースモードからでも受信することができます。
- DSPユニット接続時はDSPユニット設定が自動的にBYPASS/FLAT/ALLになります。
- 交通情報はTIボタンを1秒以上押す、または他のモードに切り替えると解除されます。

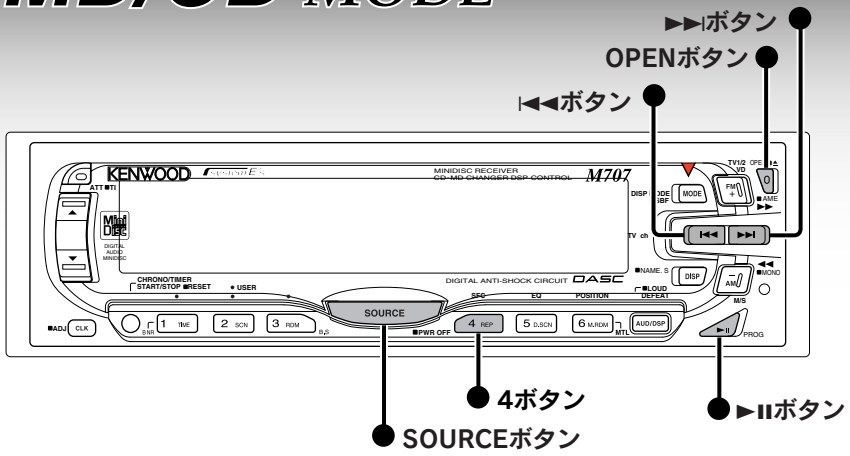
8 表示モード切り替え *—表示を切り替える—*

DISPボタンを押すごとに表示が下記の順に切り替わります。

→ 周波数 ▶ *SNPS*（ステーションネーム）▶ *AQUARIUM*（キャラクター）
LEVEL METER（レベルメーター）←

❖ MEMO ❖
- 表示モードは各ソースモードごとにメモリーされます。
- SNPS（ステーションネームプリセット）については34ページをご覧ください。
- ステーションネームが登録されていない放送局はSNPS表示にすると、「NO NAME」と表示されます。

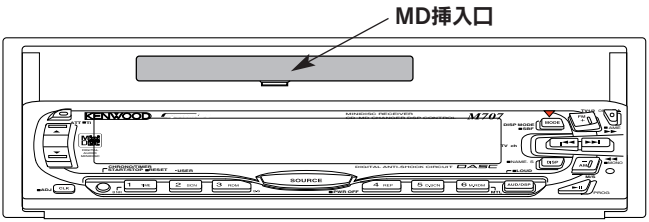
MD/CD MODE



1 パネルオープン *—MDを挿入する—*

OPENボタンを**1秒以上**押すと操作パネルがフルスライドしてMDをローディングできるようになります。

MDをローディングすると、操作パネルが自動的に元のアングル位置に戻ります。

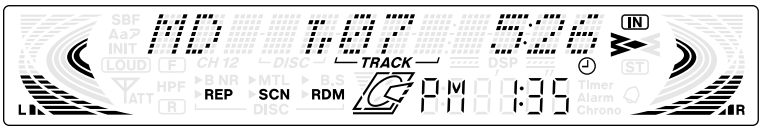


2 MDプレイ／ポーズ *—MDを演奏する—*

● **MDが入っていないとき**（IN インジケーター消灯）
MDを入れる方向を合わせてMD挿入口に差し込むと「Load」と表示されます。
ローディングが完了すると、INインジケーターと ➤ インジケーターが点灯し、トラックNo.と演奏時間が表示され、MDプレイが始まります。

● **MDが入っているとき**（IN インジケーター点灯）
SOURCEボタンを押して、「MD」を表示させると、MDプレイが始まります。

☞ MDプレイ中に**►IIボタン**を押すと、➤ インジケーターと演奏時間表示が点滅して、MDプレイが一時停止になります。再度 **►IIボタン**を押すとMDプレイが始まります。



3 CDプレイ／ポーズ —CDを演奏する—【D707接続時】

● **CDが入っていないとき**（D707の IN インジケーター消灯）
CDをレーベル面を上にして差し込むと「Load」と表示されます。ローディングが完了すると、➢ インジケーターが点灯し、トラックNo.と演奏時間が表示され、CDプレイが始まります。

● **CDが入っているとき**（D707の IN インジケーター点灯）
SOURCEボタンを押して、「CD」を表示させると、CDの演奏が始まります。

☞ CDプレイ中に**►IIボタン**を押すと ➢ インジケーターと演奏時間表示が点滅して、CDプレイが一時停止になります。再度 **►IIボタン**を押すとCDプレイが始まります。

4 イジェクト —MDを取り出す—

OPENボタンを**1秒以上**押すと操作パネルがフルスライドしてMDがイジェクトされます。

❖ MEMO ❖
- MDを取り出してOPENボタンを押すと元のアングル位置に戻ります。
- イジェクト後操作パネルが30秒間以上オープン状態の場合は、自動的に元のアングル位置に戻ります。
- 本機の電源がオフ、またはエンジンキーがオフのときはOPENボタン押すとMDがイジェクトされ、15秒後に操作パネルが自動的に閉まります。

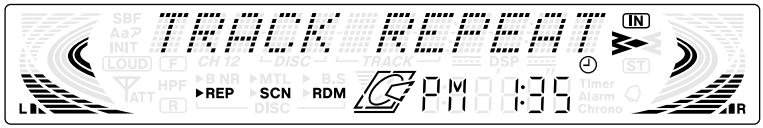
5 トラックサーチ —聴きたい曲を選ぶ—

● **先の曲を選ぶ**
►►I ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
►►I ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

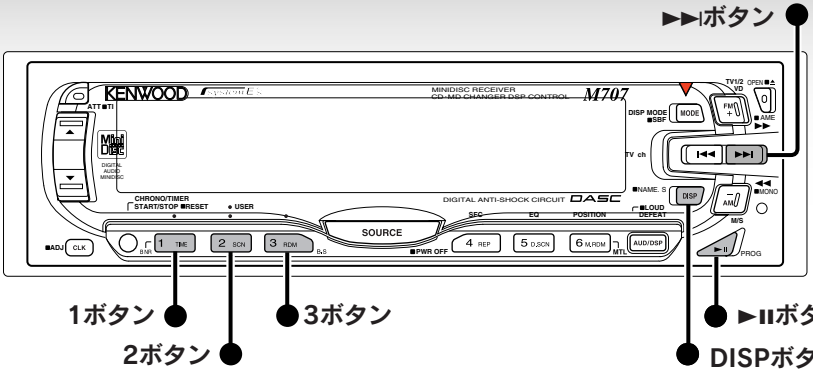
● **現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ**
I◄◄ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
I◄◄ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

6 トラックリピートプレイ —同じ曲を繰り返し聴く—

4ボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。
オンにすると「TRACK REPEAT」と表示されます。トラックリピートプレイ中は**REP**インジケーターに►が表示され、聴いている曲を繰り返し演奏します。



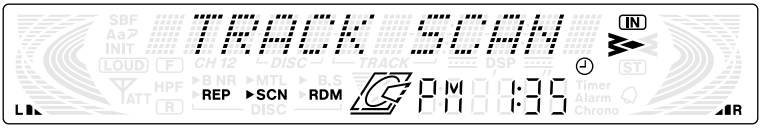
MD/CD MODE



7 トラックスキャンプレイ *—聴きたい曲を探す—*

2ボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。
オンにすると「TRACK SCAN」と表示されます。トラックスキャンプレイ中は**SCN**インジケーターに►が表示され、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

☞ 聴きたい曲が見つかったら**2ボタン**または**►II ボタン**を押します。



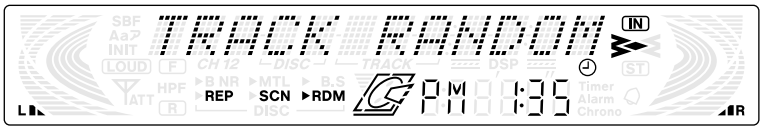
❖ MEMO ❖
すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイはオフになります。

8 トラックランダムプレイ

—聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—

3ボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると「TRACK RANDOM」と表示されます。トラックランダムプレイ中は**RDM**インジケーターに►が表示され、自動的に曲を選んで演奏します。

☞ **►►I ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



9 表示モード切り替え ―表示を切り替える―

DISPボタンを押すごとに下記の順に表示モードが切り替わります。

● MDプレイ中

演奏時間 ▶ *DISC TITLE*（ディスクタイトル）▶ *TRACK TITLE*（トラックタイトル）
▲ ▼
LEVEL METER（レベルメーター）◀――― *AQUARIUM*（キャラクター）

❖ MEMO ❖
- 表示モードは各ソースごとにメモリーされます。
- ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合は「NO TITLE」と表示されます。

● CDプレイ中

演奏時間 ▶ *DNPS*（ディスクネーム）▶ *DISC TEXT*（ディスクテキスト）
▲ ▼
LEVEL METER（レベルメーター） *TRACK TEXT*（トラックテキスト）
▲ ▼
AQUARIUM（キャラクター）◀―――

❖ MEMO ❖
- 表示モードは各ソースモードごとにメモリーされます。
- DNPS（ディスクネームプリセット）については34ページをご覧ください。
- ディスクネームが登録されていないCDは、DNPS表示にすると「NO NAME」と表示されます。
- ディスクテキストやトラックテキストが記録されていない場合は「NO TEXT」と表示されます。

10 タイトル/テキストスクロール機能オン/オフ
―タイトルやテキストを繰り返してスクロール表示する―

下記のように操作するとタイトル/テキストスクロール機能がオン/オフします。
オンにするとタイトルやテキストが5秒間隔でスクロール表示を繰り返します。

● MDプレイ中

1ボタンを押すごとにスクロール機能がオン/オフします。

● CDプレイ中

1ボタンを**1秒以上**押すごとにスクロール機能がオン/オフします。

❖ MEMO ❖
MDプレイでスクロール機能をオンにすると、CDプレイ時のスクロール機能もオンになります。また、その逆の操作も同様です。（お買い上げ時はオフに設定されています。）

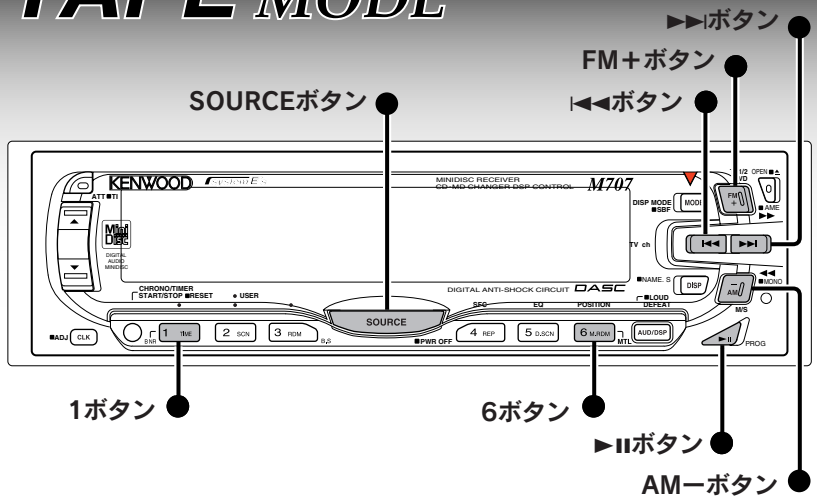
11 演奏時間表示モード切り替え ―CDの演奏時間表示を切り替える―

1ボタンを押すごとに下記の順に表示モードが切り替わります。

トラック演奏時間（P-TIME）――▶ トータル演奏時間（A-TIME）
▲ ▼
残り演奏時間（R-TIME）◀――

❖ MEMO ❖
MDプレイでは演奏時間表示モードの切り替えはできません。（トラック演奏時間表示のみです。）

TAPE MODE

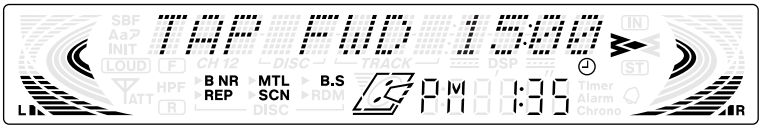


1 テーププレイ ―テープを演奏する―

● **カセットテープが入っていないとき**（X707の IN インジケーター消灯）
X707にテープの見える面を右側にしてカセットを入れると ➤ または ➤ インジケーターが点灯しテーププレイが始まります。

● **カセットテープが入っているとき**（X707の IN インジケーター点灯）
SOURCEボタンを押して、「TAPE」を選択すると、テーププレイが始まります。

☞ テーププレイ中に**►IIボタン**を押すごとにテープの走行方向がフォワードとリバースに切り替わります。
走行方向を切り替えると、カウンターは「0:00」から始まります。



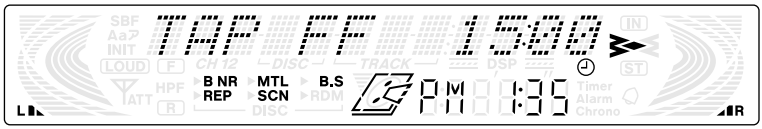
❖ MEMO ❖

テープ走行状態をインジケーター表示でお知らせします。A面を上にしてテープを挿入すると、A面演奏中は ➤ インジケーターを表示、B面演奏中は ➤ インジケーターを表示します。

2 早送り／巻き戻し

FM+ボタンを押すと早送りが始まります。
AMーボタンを押すと巻き戻しが始まります。

☞ 途中で解除するときは**►IIボタン**を押します。



3 DPSS（ダイレクトプログラムサーチシステム） ―飛び越し選曲する―

● 先の曲を選ぶ

►►Iボタンを押すごとに飛び越す曲数が表示され、指定した曲の先頭まで早送りして、演奏します。最高9曲まで飛び越し選曲できます。

☞ 途中で解除するときは**►IIボタン**を押します。

● 現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ

I◄◄ボタンを押すと現在の曲の先頭へ、押すごとに飛び越す曲数が表示され、指定した曲の先頭まで巻戻り、演奏します。最高9曲まで飛び越し選曲できます。

☞ 途中で解除するときは**►IIボタン**を押します。

4 ドルビーB NRシステム ―ドルビーB NRを使って録音されたテープを聴く―

1ボタンを押すごとに「DOLBY B ON」、「DOLBY OFF」と表示されドルビーB NRシステムがオン/オフします。

オンにすると**B NR**インジケーターに►が表示されます。ドルビーB NRで録音したテープを再生するときはオンにします。

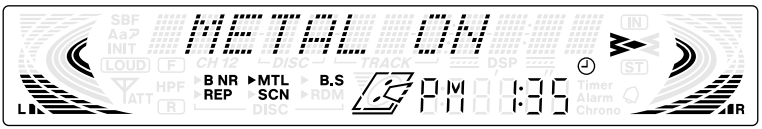
ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

5 テープセレクター ―メタル／クロームテープを聴く―

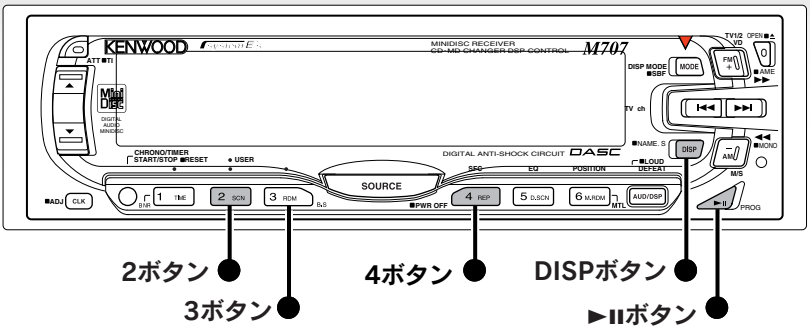
6ボタンを押すごとに「METAL ON」、「METAL OFF」と表示され、テープタイプがメタル（TYPE Ⅳ）／クローム（TYPE Ⅱ）ポジションとノーマル（TYPE Ⅰ）ポジションに切り替わります。

オンにすると**MTL**インジケーターに►が表示されます。

メタル／クロームポジションのテープを再生するときはオンにします。

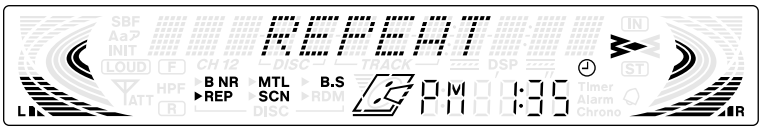


TAPE MODE



6 リピートプレイ *—同じ曲を繰り返し聴く—*

4ボタンを押すごとにリピートプレイがオン/オフします。
オンにすると「REPEAT」と表示され、**REP**インジケーターに►が表示されます。現在聴いている曲を繰り返し演奏します。



❖ MEMO ❖
リピートプレイ中に►II/FM+/AM−/I◄◄/►►I ボタンを操作するとリピートプレイは解除されます。

7 インデックススキャンプレイ *—聴きたい曲を探す—*

2ボタンを押すごとにインデックススキャンプレイがオン/オフします。
オンにすると「INDEX SCAN」と表示され、**SCN**インジケーターに►が表示されます。曲の先頭部分を約10秒間演奏すると、次の曲の先頭までサーチして各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

☞ 聴きたい曲が見つかったら**2ボタン**または**►IIボタン**を押します。

8 ブランクスキップ ―無録音部分をスキップする―

3ボタンを押すごとに押すごとに「B-SKIP ON」、「B-SKIP OFF」と表示され、ブランクスキップがオン/オフします。
オンにすると**B.S**インジケーターに▶が表示されます。10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲まで早送りされます。

9 表示モード切り替え ―表示を切り替える―

DISPボタンを押すごとに下記の順に表示が切り替わります。

テープカウンター▶ *AQUARIUM*（キャラクター）
LEVEL METER（レベルメーター）

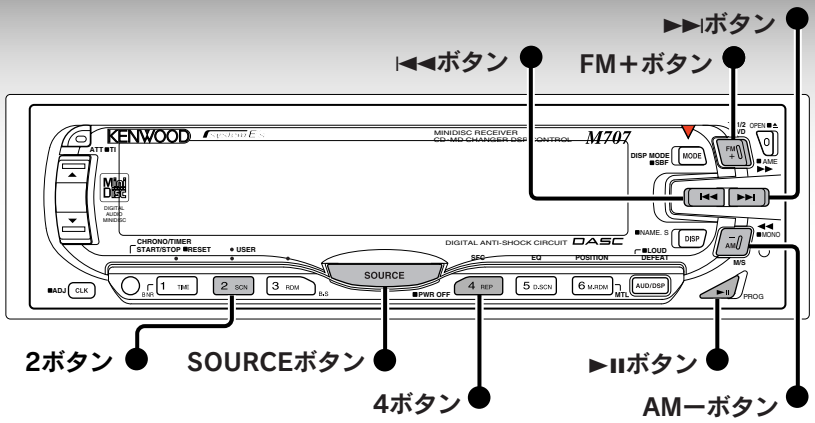
❖ MEMO ❖

表示モードは各ソースモードごとにメモリーされます。

❖ MEMO ❖

- DPSS、リピート、インデックススキャンは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行います。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中に録音レベルが非常に小さい部分が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。お買い上げ時はオンになっています。

DISC CHANGER MODE

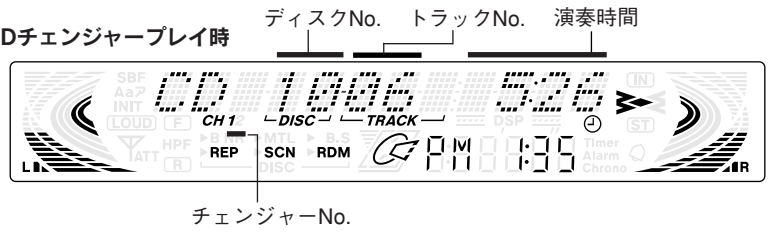


1 ディスクプレイ／ポーズ *ーディスクチェンジャーを演奏するー*

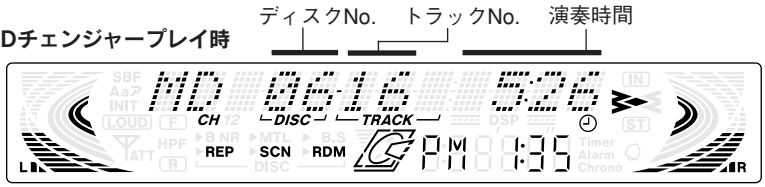
SOURCEボタンで「CD-CH」または「MD-CH」を選択すると➢ インジケーターが点灯し、ディスク／トラックNo.と演奏時間が表示され、ディスクの演奏が始まります。

☞ ディスクプレイ中に**►IIボタン**を押すと ➢ インジケーターと演奏時間表示が点滅して、ディスクプレイが一時停止になります。再度**►IIボタン**を押すとディスクプレイが始まります。

●**CDチェンジャープレイ時**



●**MDチェンジャープレイ時**



2 ディスクチェンジャー切り替え *ー2台のディスクチェンジャーを切り替えるー*

● **CDチェンジャーとMDチェンジャーを1台ずつ接続しているとき**
SOURCEボタンで「CD-CH」または「MD-CH」を選択します。

● **CDチェンジャーまたはMDチェンジャーを2台接続しているとき**
SOURCEボタンで「CD(MD)-CH1」または「CD(MD)-CH2」を選択します。
選択したチェンジャーNo.が表示されます。

3 トラックサーチ ―聴きたい曲を選ぶ―

● **先の曲を選ぶ**
►►I ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
►►I ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

● **現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ**
I◄◄ ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
I◄◄ ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

4 ディスクサーチ ―聴きたいディスクを選ぶ―

● **先のディスクを選ぶ**
FM+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。

● **手前のディスクを選ぶ**
AM−ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

5 トラックリピートプレイ ―同じ曲を繰り返し聴く―

4ボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。
オンにすると「TRACK REPEAT」と表示されます。トラックリピートプレイ中は**REP**インジケーターに►が表示され、聴いている曲を繰り返し演奏します。

6 ディスクリピートプレイ ―同じディスクを繰り返し聴く―

4ボタンを**1秒以上**押すごとにディスクリピートプレイがオン/オフします。
オンにすると「DISC REPEAT」と表示されます。
ディスクリピートプレイ中は**DISC**インジケーターが点灯、**REP**インジケーターに►が表示され、聴いているディスクを繰り返し演奏します。

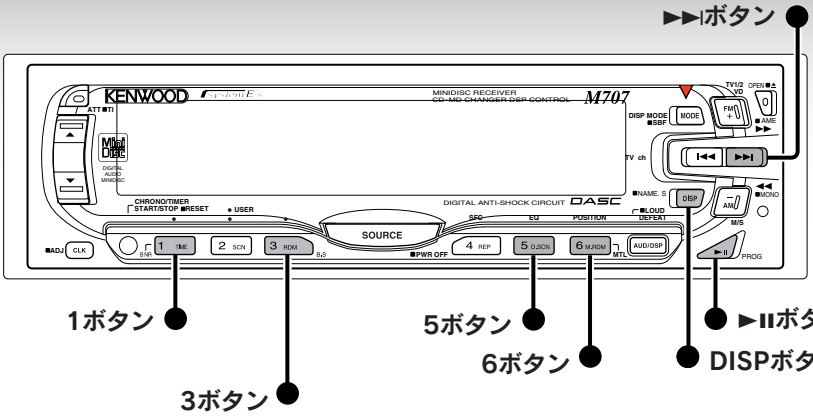
7 トラックスキャンプレイ ―聴きたい曲を探す―

2ボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。オンにすると「TRACK SCAN」と表示されます。トラックススキャンプレイ中は**SCN**インジケーターに►が表示され、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

☞ 聴きたい曲が見つかったら**SCNボタン**または**►IIボタン**を押します。

❖ MEMO ❖
すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイがオフになります。

DISC CHANGER MODE



8 ディスクスキャンプレイ *—聴きたいディスクを探す—*

5ボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがオン/オフします。
オンにすると「DISC SCAN」と表示されます。ディスクスキャンプレイ中は**DISC**インジケーターが点灯、**SCN**インジケーターに►が表示され、ディスクNo.が点滅します。ディスクマガジンにセットされているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

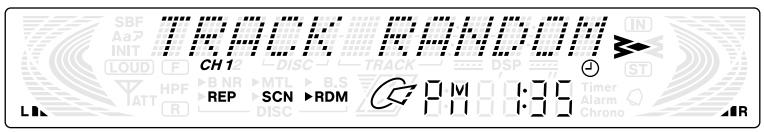
☞ 聴きたいディスクが見つかったら**D.SCNボタン**または**►IIボタン**を押します。

❖ MEMO ❖
すべてのディスクをスキャンすると自動的にディスクスキャンプレイがオフになります。

9 トラックランダムプレイ *—聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—*

3ボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると「TRACK RANDOM」と表示されます。トラックランダムプレイ中は**RDM**インジケーターに►が表示され、自動的に曲を選んで演奏します。

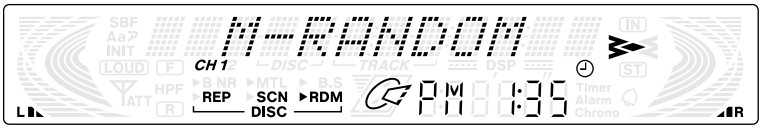
☞ **►►Iボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



10 マガジンランダムプレイ ―マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する―

6ボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると「M-RANDOM」と表示されます。マガジンランダムプレイ中は**DISC**インジケーターが点灯、**RDM**インジケーターに▶が表示され、自動的に曲を選んで演奏します。

☞ **►►I ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



11 表示モード切り替え ―表示を切り替える―

DISP ボタンを押すごとに下記の順に表示が切り替わります。

● MDプレイ中

演奏時間▶*DISC TITLE*（ディスクタイトル）▶*TRACK TITLE*（トラックタイトル）▶*LEVEL METER*（レベルメーター）▶*AQUARIUM*（キャラクター）▶演奏時間

❖ MEMO ❖
- 表示モードは各ソースモードごとにメモリーされます。
- ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合は「NO TITLE」と表示されます。

● CDプレイ中

演奏時間▶*DNPS*（ディスクネーム）▶*DISC TEXT*（ディスクテキスト）▶*TRACK TEXT*（トラックテキスト）▶*LEVEL METER*（レベルメーター）▶*AQUARIUM*（キャラクター）▶演奏時間

❖ MEMO ❖
- 表示モードは各ソースモードごとにメモリーされます。
- DNPS（ディスクネームプリセット）については34ページをご覧ください。
- ディスクネームが登録されていないCDは、DNPS表示にすると「NO NAME」と表示されます。
- ディスクテキストやトラックテキストが記録されていない場合は「NO TEXT」と表示されます。

12 タイトル/テキストスクロール機能オン/オフ ―タイトルやテキストを繰り返してスクロール表示する―

下記のように操作するとタイトル/テキストスクロール機能がオン/オフします。
オンにするとタイトルやテキストが5秒間隔でスクロール表示を繰り返します。

● MDプレイ中

1ボタンを押すごとにスクロール機能がオン/オフします。

● CDプレイ中

1ボタンを**1秒以上**押すごとにスクロール機能がオン/オフします。

❖ MEMO ❖
MDプレイでスクロール機能をオンにすると、CDプレイ時のスクロール機能もオンになります。また、その逆の操作も同様です。（お買い上げ時はオフに設定されています。）

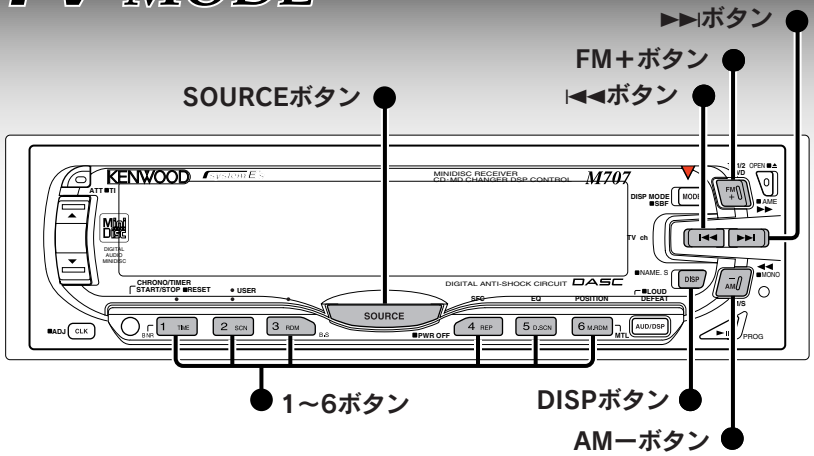
13 演奏時間表示モード切り替え ―CDの演奏時間表示を切り替える―

1ボタンを押すごとに下記の順に表示モードが切り替わります。

トラック演奏時間（P-TIME）▶トータル演奏時間（A-TIME）▶残り演奏時間（R-TIME）▶トラック演奏時間（P-TIME）

❖ MEMO ❖
MDプレイでは演奏時間表示モードの切り替えはできません。（トラック演奏時間表示のみです。）

TV MODE



1 バンド/ビデオ入力切り替え *ー聴きたいバンド/ビデオを選ぶー*

1. **SOURCEボタン**を押して「TV」を選択します。
2. **FM+ボタン**を押すごとに下記の順に切り替わります。

「TV1」 → 「TV2」 → 「VIDEO 1」 → 「VIDEO 2」

2 チューニング *ーチャンネルを選ぶー*

●マニュアルチューニングで選局する
I◄◄ボタンを押すごとにチャンネルの低い方へ1ステップずつ切り替わります。
►►I ボタンを押すごとにチャンネルの高い方へ1ステップずつ切り替わります。

●オートチューニングで選局する
I◄◄ボタンを**0.5秒以上**押すとチャンネルの低い方へ自動的に受信状態の良い放送局を探して受信します。
►►I ボタンを**0.5秒以上**押すとチャンネルの高い方へ自動的に受信状態の良い放送局を探して受信します。

音声多重番組を受信すると「M」または「S」がチャンネル番号の左に表示されます。
また、ステレオ番組を受信すると**ST**インジケーターが点灯します。

3 オートメモリー ―自動的に受信状態の良い放送局を探してメモリーする―

1. **FM+ボタン**を押してメモリーしたいバンドを「TV1」、「TV2」から選びます。
2. **FM+ボタン**を**2秒以上**押すと「AUTO MEMORY」と表示され、オートメモリーを開始します。
   現在受信状態の良い放送局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。

❖ MEMO ❖

6局メモリーするか、チャンネルを一周して選んだバンドに受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。

4 マニュアルメモリー ―聴いているチャンネルをマニュアルでメモリーする―

放送局を受信中に**1～6ボタン**のいずれかを**2秒以上**押すと、押したボタンに現在聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。
各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。

5 メモリー呼び出し ―メモリーしたチャンネルを呼び出す―

メモリーボタン1～6のいずれかを押すとメモリーNo.が表示され、オートメモリー、マニュアルメモリーでメモリーしたチャンネルに切り替わります。

6 メイン/サブ音声切り替え ―音声多重の音声を切り替えて聴く―

AM－ボタンを押すごとにメイン音声とサブ音声に切り替わります。

7 表示モード切り替え ―表示を切り替える―

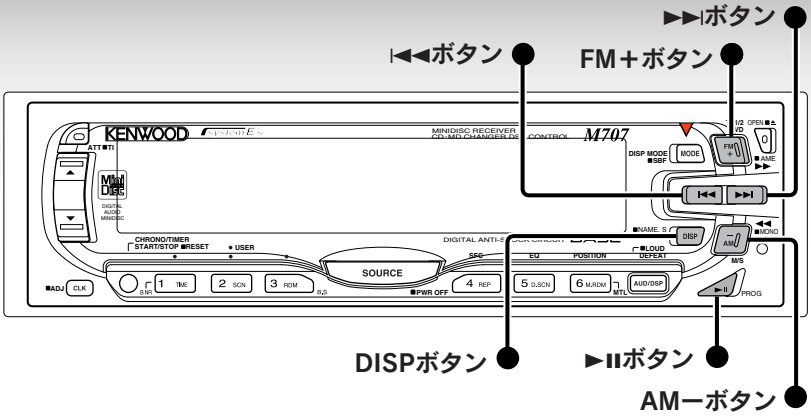
DISPボタンを押すごとに表示が下記の順に切り替わります。

→ チャンネル ▶ *AQUARIUM*（キャラクター）▶ *LEVEL METER*（レベルメーター）

❖ MEMO ❖

表示モードは各ソースモードごとにメモリーされます。

NAME SET MODE



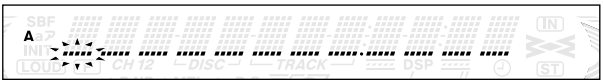
1 SNPS/ DNPS — *FM/AM放送局やディスクに名前を付ける—*

● **SNPS**（ステーションネームプリセット）

1. 名前を付けたい放送局を受信する、またはその周波数に合わせます。
2. **DISPボタン**を**２秒以上**押すと「NAME SET」と表示され、SNPSモードになり入力できる位置のカーソルが点滅します。

● **DNPS**（ディスクネームプリセット）

1. 名前を付けたいディスクを演奏します。
2. **DISPボタン**を**２秒以上**押すと「NAME SET」と表示され、DNPSモードになり入力できる位置のカーソルが点滅します。



以降はSNPS、DNPSモードともに同一操作です。

3. **I◄◄ボタン**または**►►Iボタン**を押して文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。
4. **►IIボタン**を押すごとに文字種インジケーターが**A**（英大文字／数字／記号）⇨**a**（英小文字／数字／記号）⇨**ア**（カタカナ／数字／記号）の順に点灯します。
入力したい文字種のインジケーターを点灯させます。

5. FM＋またはAMーボタンで文字を選択します。
3.～**5.**の操作を繰り返してネームを完成させます。

❖ MEMO ❖
- FM＋またはAMーボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字は大文字の後に表示されます。
- 入力できる記号は ! " # $ % & ' ( ) ＊ + , - . / : ; < = > ? @ [ ] ^ 「」です。
- 入力できる文字数は12文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

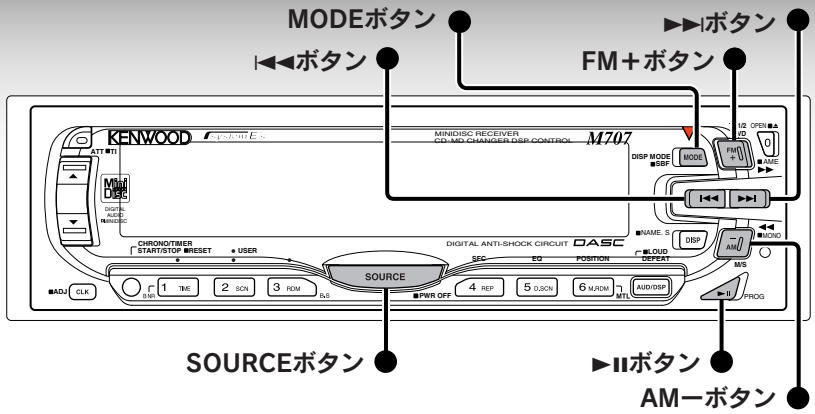
6. DISPボタンを押すとネームが登録され、SNPSまたはDNPSモードが終了します。

❖ MEMO ❖
- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされ、SNPSやDNPSモードが終了します。
- ステーションネームを登録できる放送局数はFM/AM合わせて30局までです。31局目のネームプセットをおこなうと、1局目にネームセットした放送局名が自動的に消されます。
- CD MODEでD707に登録できるディスクの枚数は10枚までです。11枚目のディスクネームセットを行うと、最後にプレイした時から最も時間がたっているディスクのネームが消去されます。
- DISC CHANGER MODEで"C710""C706"内のディスクに登録できるディスクの枚数はCDチェンジャー1台につき100枚までです。（2台接続している場合は合計200枚まで登録可能です。）各CDチェンジャーで101枚目のディスクネームセットを行うと、最後にプレイした時から最も時間がたっているディスクのネームが消去されます。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- ステーションネーム/ディスクネームを変更したいときは以下の操作をします。
  1.と**2.**で現在のネームを表示させ、**3.**～**6.**でネームを変更します。
- システムリセットボタンを押してもステーションネーム/ディスクネームは消えません。

注意
- BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続したディスクチェンジャー内のディスクにはディスクネームを付けることはできません。
- 本機にセットしたMDにはディスクネームを付けることはできません。
- TV放送局にはネームセットできません。

禁止 文字入力は複雑な操作です。走行中、運転者は操作しないでください。

SBF MODE

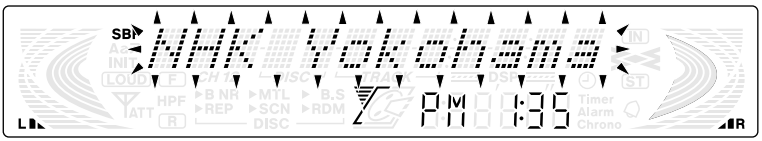


1 SBF（セレクトバイファイル）

ーステーションネームやディスクネーム、ディスクタイトル/テキストで選択するー

❖ステーションネーム（SNPS）で選択する。

1. **SOURCEボタン**を押して、「TUNER」を選択します。
2. **MODEボタン**を**1秒以上**押します。
   「SBF MODE」と表示され、プリセットNo.にメモリーされている各バンドのステーションネームを 5 秒間ずつ順に点滅表示していきます。



❖ MEMO ❖

- ステーションネームが登録されていない場合は周波数が表示されます。
- ►►Iボタンを押すごとに早送り表示、I◄◄ボタンを押すごとに早戻し表示ができます。
- FM＋またはAMーボタンを押すとセレクトバイファイルするバンドをすぐに切り替えることができます。

3. 聴きたい放送局が見つかったら、**MODEボタン**を押します。選択した放送局を受信します。

❖ MEMO ❖

途中で解除するときはMODEボタンを 1 秒以上押します。

❖ディスクネーム（DNPS）やディスクタイトル/テキストで選択する。

SOURCEボタンを押して、「MD」、「CD」または「CD(MD)-CH」を選択します。

●イニシャルで検索して選択する

1. **MODEボタン**を**1秒以上**押すと「INITIAL MODE」と表示され、イニシャルモードになります。**INIT**インジケーターが点灯して、カーソルが点滅します。

2. **►IIボタン**を押すごとに文字種インジケーターが**A**（英大文字／数字／記号）⇨**a**（英小文字／数字／記号）⇨**ア**（カタカナ／数字／記号）の順に点灯します。
入力したい文字種のインジケーターを点灯させます。
3. **FM+／AM−ボタン**で検索したいディスクネームやディスクタイトルのイニシャルを1文字選択します。

❖ MEMO ❖
該当するディスクが1枚しかない場合は、そのディスクの演奏を始めます。

4. **MODEボタン**を押します。
該当するイニシャルが先頭にあるディスクネームやディスクタイトル、ディスクテキストを5秒間ずつ表示します。

❖ MEMO ❖
該当するディスクがない場合は**1.**に戻ります。

5. 聴きたいディスクが見つかったら**MODEボタン**を押します。選択したディスクをサーチして演奏を開始します。

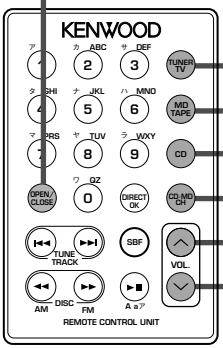
●ファイルを表示させて選択する

1. イニシャルモードの**1.**から、もう一度**MODEボタン**を押します。
「SBF MODE」と表示され、SBFモードになります。すべてのディスクネームやディスクタイトル、ディスクテキストを5秒間ずつ表示します。
2. 聴きたいディスクが見つかったら、**MODEボタン**を押します。選択したディスクをサーチして演奏を開始します。

❖ MEMO ❖
- 検索は本機および接続しているCDプレヤー、MD/CDチェンジャーにセットされているディスクに対して行えます。（CDプレヤーまたはMD/CDチェンジャーを接続していない場合は検索できません。）
- ►►Iボタンを押すごとに早送り表示、I◄◄ボタンを押すごとに早戻し表示ができます。
- SBFモードを途中で解除するときは**MODEボタン**を1秒以上押します。
- ディスクチェンジャーに入れてから1度も演奏されていないディスクのディスクネーム/タイトル/テキストは認識されません。このようなときは、ディスクスキャンするなどして、1度演奏すると、ディスクネーム/タイトル/テキストを表示するようになります。
- DNPSやディスクタイトル、ディスクテキストが1枚も登録されていない場合は登録ネーム数が“00”と表示されます。
- MDにディスクタイトルが記録されていない場合は検索されません。
- マガジンランダムプレイ中のディスクチェンジャーはイニシャル/SBFモードにしても、ディスクネームやディスクタイトル/テキストは表示されません。

REMOTE CONTROL MODE

■ALL MODE



OPEN/CLOSE ボタン
操作パネルのアングル角度が切り替わります。

TUNER TVボタン
押すごとにTUNER➡TV➡NAVIGATION➡ALL OFFの順に切り替わります。

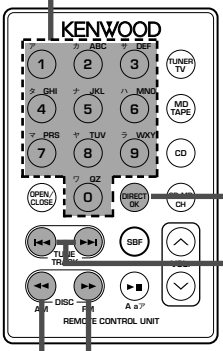
MD TAPEボタン
●MDが入っているときに押すとMDプレイが始まります。
●X707を接続しているときは、押すごとにMD⇔TAPEに切り替わります。

CDボタン
D707にCDが入っているときに押すとCDプレイが始まります。

CD･MD CHボタン
押すとディスクチェンジャープレイが始まります。2台接続されているときは､押すごとにCD(MD)-CH1⇔CD(MD)-CH2に切り替わります。

VOL.ボタン
へ／∨ボタンで音量調整できます。

■TUNER MODE



ナンバーボタン
1～6はメモリーした放送局を呼び出します。DIRECTボタンを押して選局するときは、周波数の入力ができます。

DIRECTボタン
押すごとにダイレクトチューニングモードのオン／オフができます。周波数表示が点滅（10秒間）中にナンバーボタンで聴きたい放送局の周波数を入力します。

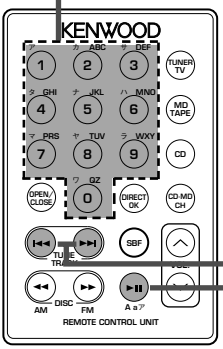
例・ 82.5MHz（FMバンド選択時）
押すボタン・・・・・・ DIRECT OK ⑧②⑤
1134kHz（AMバンド選択時）
押すボタン・・・・・・ DIRECT OK ①①③④

|◀◀／▶▶|ボタン
|◀◀ボタンを押すと受信周波数が下がります。
▶▶|ボタンを押すと受信周波数が上がります。

▶▶ボタン
押すごとにFM1､FM2バンドに切り替わります。

◀◀ボタン
押すごとにAM1、AM2バンドに切り替わります。

■MD MODE



ナンバーボタン

ダイレクトに演奏したいトラックNo.の入力ができます。
トラックNo.を入力して、No.表示が点滅（10秒間）中に、
I◄◄／►►Iボタンを押すとダイレクトトラックサーチします。

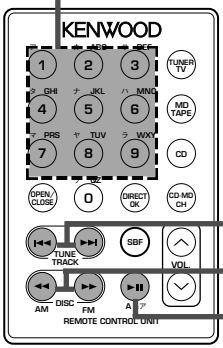
I◄◄／►►Iボタン

I◄◄ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
►►Iボタンは先の曲へトラックサーチします。

►IIボタン

MD演奏のプレイ／ポーズができます。

■TAPE MODE



ナンバーボタン

飛び越したい曲数を入力します。No.表示が点滅（10秒間）中に、
I◄◄ボタンを押すと入力した曲数分を巻き戻し、テーププレイが始まります。
►►Iボタンを押すと入力した曲数分を早送りし、テーププレイが始まります。

I◄◄／►►Iボタン

I◄◄ボタンは現在の曲の先頭や手前の曲へDPSSします。
►►Iボタンは先の曲へDPSSします。

◄◄／►►ボタン

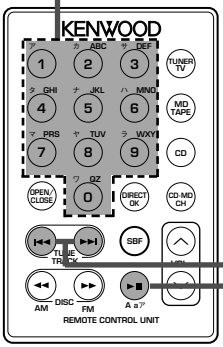
◄◄ボタンを押すと巻き戻しが始まります。
►►ボタンを押すと早送りが始まります。

►IIボタン

押すとテープのA面とB面が切り替わります。巻き戻し、早送り、DPSS中に押すとテーププレイに戻ります。

REMOTE CONTROL MODE

■CD MODE



ナンバーボタン

ダイレクトに演奏したいトラックNo.の入力ができます。
トラックNo.を入力して、No.表示が点滅（10秒間）中に、
I◄◄／►►Iボタンを押すとダイレクトトラックサーチします。

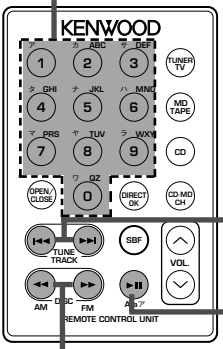
I◄◄／►►Iボタン

I◄◄ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
►►Iボタンは先の曲へトラックサーチします。

►IIボタン

CD演奏のプレイ／ポーズができます。

■DISC CHANGER MODE



ナンバーボタン

ダイレクトに演奏したいトラックまたはディスクNo.の入力ができます。
トラックまたはディスクNo.を入力して、No.表示が点滅（10秒間）中に
I◄◄／►►Iボタンを押すとダイレクトトラックサーチします。
◄◄／►►ボタンを押すとダイレクトディスクサーチします。

I◄◄／►►Iボタン

I◄◄ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
►►Iボタンは先の曲へトラックサーチします。

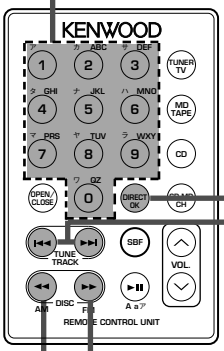
►IIボタン

ディスク演奏のプレイ／ポーズができます。

◄◄/►►ボタン

◄◄ボタンは手前のディスクへサーチします。
►►ボタンは次のディスクへサーチします。

■TV MODE



ナンバーボタン

1〜6はメモリーした放送局を呼び出します。DIRECTボタンを押して選局するときは、チャンネルの入力ができます。

DIRECTボタン

押すごとにダイレクトチューニングモードのオン／オフができます。チャンネル表示が点滅（10秒間）中にナンバーボタンで聴きたい放送局のチャンネルを入力します。

例・47 ch

押すボタン・・・・・ DIRECT OK ④⑦

I◀◀／▶▶Iボタン

I◀◀ボタンを押すとチャンネルが下がります。

▶▶Iボタンを押すとチャンネルが上がります。

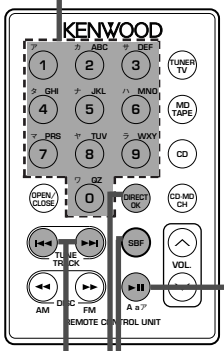
▶▶ボタン

押すごとにTV1、2バンド、VIDEO1、2に切り替わります。

◀◀ボタン

押すごとにメイン音声、サブ音声に切り替わります。

■SNPS/DNPS/SBF MODE



文字ボタン

押すごとにボタンの上に表示してある文字が切り替わり表示されます。

例　英字モードでは②ボタンを押すごとに

A(a) → B(b) → C(c)

カタカナモードでは①ボタンを押すごとに

ア ▶ ァ ▶ イ ▶ ィ ▶ ウ ▶ ゥ ▶ エ ▶ ェ ▶ オ ▶ ォ

のように文字が選択できます。

▶IIボタン

押すごとに文字モードが英大文字モード⇨英小文字モード⇨カタカナモードの順に切り替わります。

例　「K」を入力するとき

1.▶IIボタンを押して**A**インジケーターを点灯させる。

2.文字ボタン⑤を押して「K」を選択する。

「ヨ」を入力するとき

1.▶IIボタンを押して**ア**インジケーターを点灯させる。

2.文字ボタン⑧を押して「ヨ」を選択する。

SBFボタン

押すとSBFモードになります。

OKボタン

SNPS/DNPS中に押すと入力したネームが登録されます。

BFモード中に押すと表示されている放送局やディスクに切り替わります。

I◀◀／▶▶Iボタン

I◀◀／▶▶Iボタンを押すと文字入力カーソルの位置が移動します。

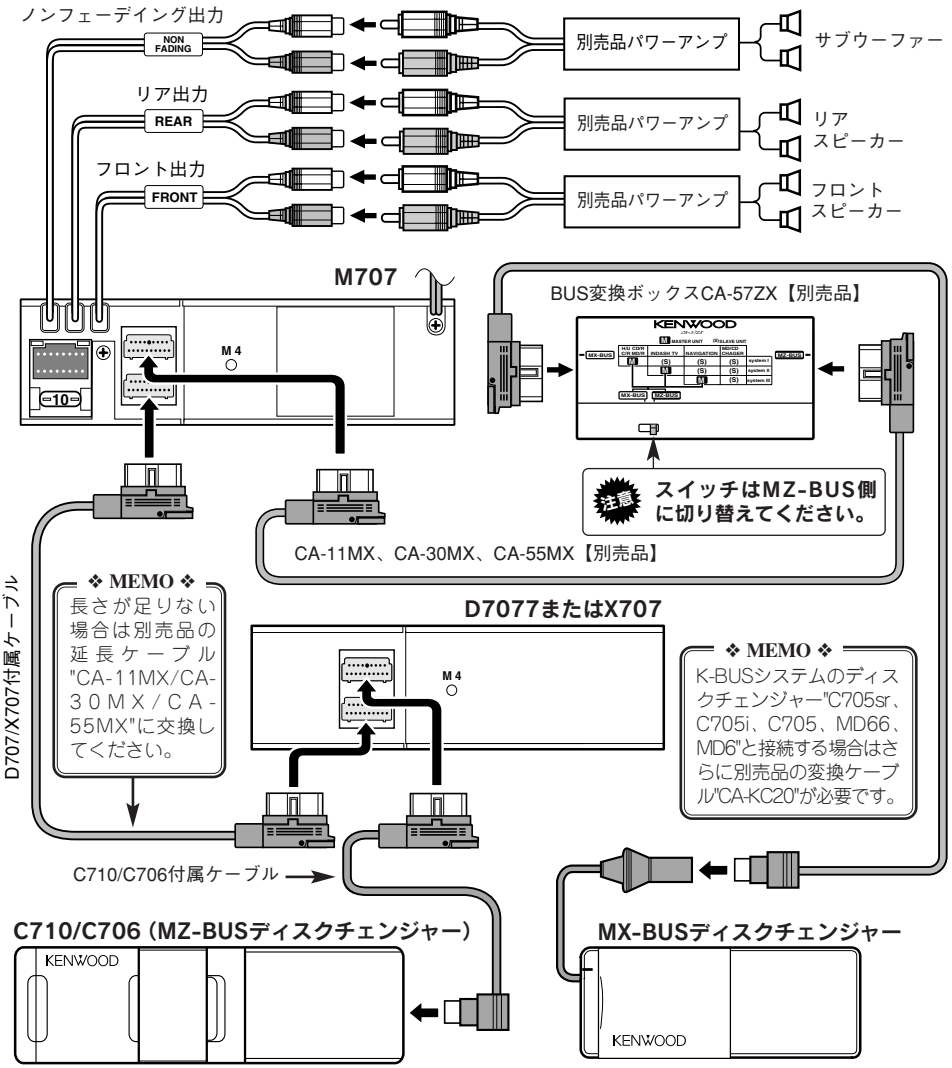
注意　本機にセットしたMDやBUS変換ボックスを使用して接続しているディスクチェンジャーには、DNPSの操作はできません。

接続のしかた

実施 **初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。**

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをM707に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. 本機の電源を入れてリセットボタンを押します。

実施
- ●接続しないBUS端子は保護キャップを外さないでください。
- ●本機から外した保護キャップは、接続しているユニットの使用していない端子に差し込んでください。



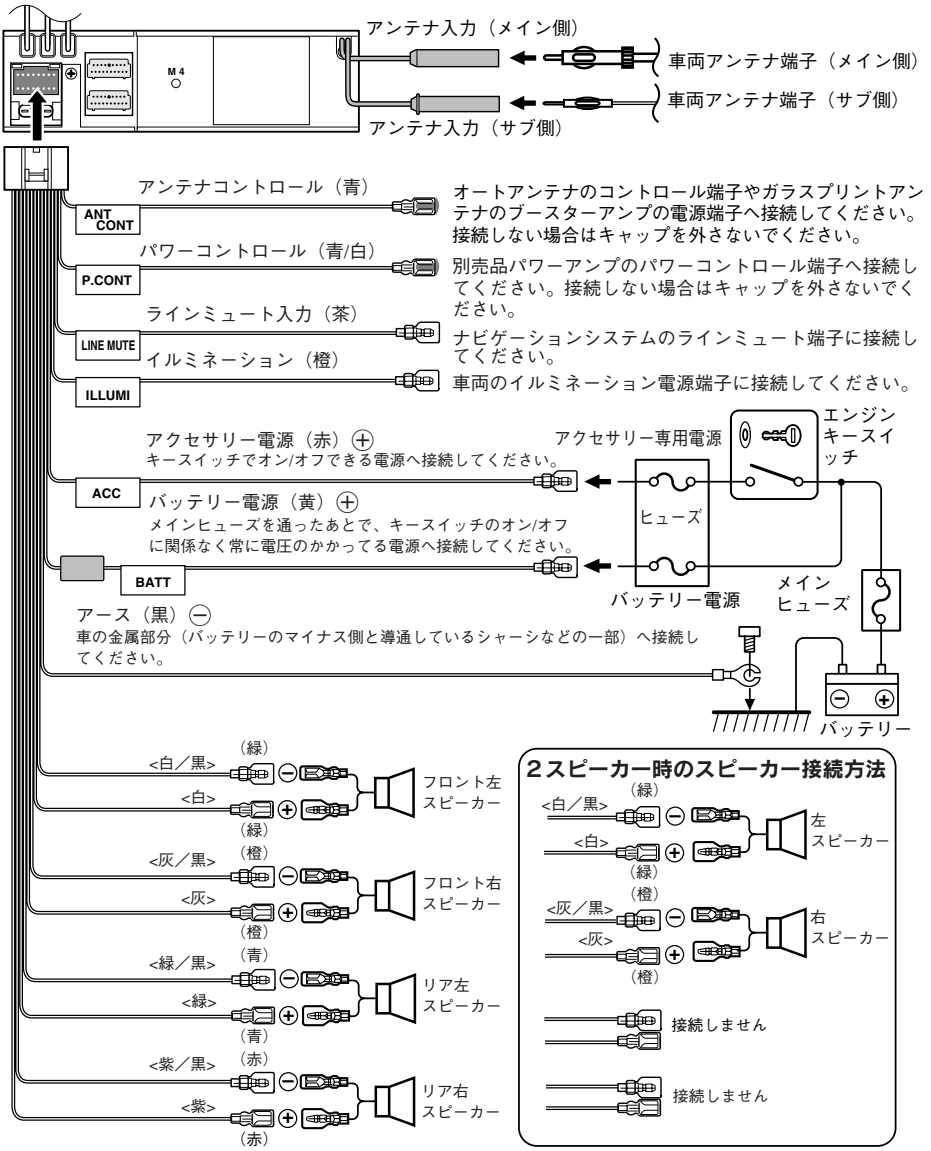
❖ MEMO ❖

ダイバシティアンテナの接続のしかた

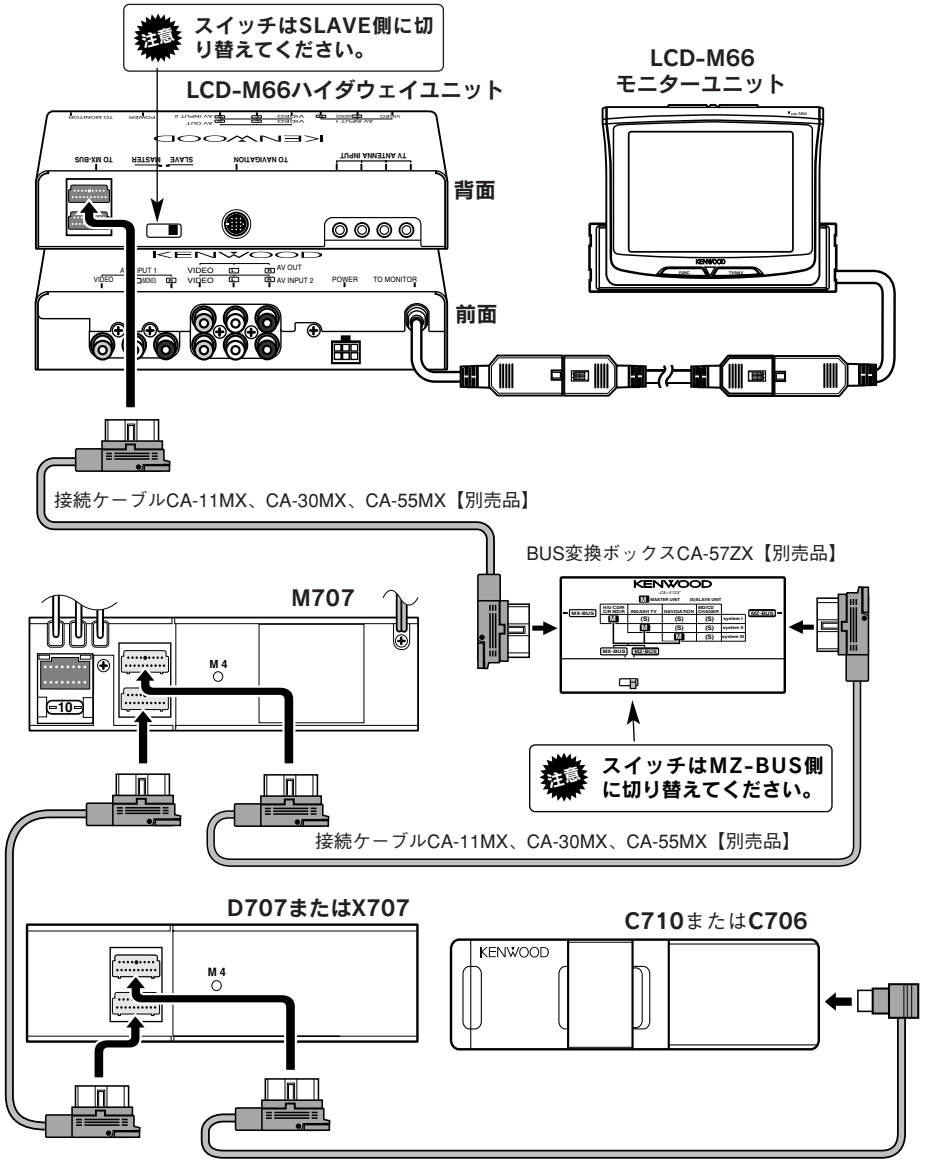
ダイバシティ対応車はサブアンテナ端子を接続できます。アンテナ端子の形状が異なる場合は別売の変換コードが必要です。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

ダイバシティ未対応車へは

別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ"CA-83U"と汎用 のFMアンテナを追加すると、本機のダイバシティシステムを活用することができます。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。



接続のしかた（LCD-M66との接続）



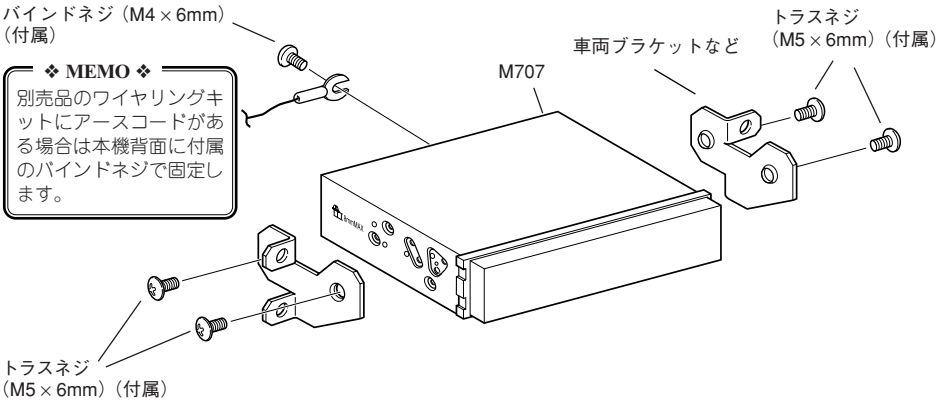
取り付けかた

付属のトラスネジ（M5×6mm）4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

注 意

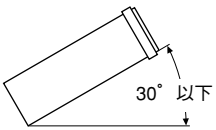
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。



注 意

- 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。破損することがあります。



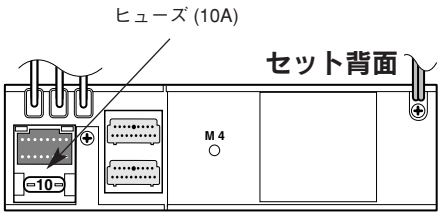
❖ MEMO ❖

別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

ヒューズ交換のしかた

注 意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
音が出ない／小さい	• 音量が最小になっている。 • アッテネーターがオンになっている。 • ヒューズが切れている。 • フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 • 入・出力/電源コードが間違って接続されている。	• 音量を適度に上げてください。 • アッテネーターをオフしてください。 • コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。(➪ P.45) • フェダー、バランスを調整してください。 • "接続のしかた"を見て正しく接続してください。(➪ P.42)
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(➪ P.8)
音質が悪い（音が歪む）	• 音量が大きすぎる。 • スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 • スピーカー配線が間違っている。	• 適正音量で使用してください。 • スピーカー配線をチェックしてください。 • スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
チューナーの感度が悪い	• 自動車のアンテナが伸びていない。 • アンテナコントロール電源が接続されていない。	• アンテナを十分伸ばしてください。 • "接続のしかた"をみてアンテナコントロール電源を接続してください。(➪ P.42)
振動により音が飛んでしまう	• 取り付け角度が30˚を越えている。 • 取り付けが不安定になっている。	• 30˚以下の角度に調整してください。 • しっかりと固定してください。 • 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、MDやCDの問題です。
MDモードに切り替わらない	MDに何も記録されていない。	記録/録音されたMDに入れ替えてください。
MDがローディングされない	MDの入れる方向が違う、または裏返しになっている。	MDを正しい方向に入れな直してください。
音質が悪い（再生中ノイズが出る）	MDに傷や汚れなどがついている。	他のMDを再生して問題がなければMD自身の音質です。
選曲動作をしても目的の曲にならない。	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。(➪ P.22)

●別売品のDSPグライコCDプレヤー"D707"またはDSPグライコカセットプレヤー"X707"を接続しているとき

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
音質が悪い（音が歪む）	• 音量が大きすぎる。 • スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 • スピーカー配線が間違っている。	• 適正音量で使用してください。 • スピーカー配線をチェックしてください。 • スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
テープが入らない	• カセットハーフが変形している。 • テープが逆向きになっている。	• 他のカセットテープを使用してください。 • テープが見える面を右にして入れてください。
CDが演奏しない	• CDが裏返しになっている。 • CDが異常に汚れている。 • 結露している。	• ラベル面を上にして入れなおしてください。 • “CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。(➪ P.9) • しばらく、放置してから使用してください。
音が飛んでしまう	• 取り付け角度が、30˚を越えている。 • 取り付けが不安定になっている。 • CDに傷や汚れなどがついている。	• 30˚以内の角度に調整してください。 • しっかりと固定してください。 • 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。“CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。(➪ P.9)
音質が悪い（再生中ノイズが出る）	• CD自身の音質。 • CDに傷や汚れなどがついている。	• 他のCDを再生して問題がなければCD自身の音質です。 • “CDのお手入れ”を見てクリーニングしてみてください。(➪ P.9)
DSP効果が得られない	• 2スピーカーシステムになっている。 • フロント出力とリア出力が逆に接続されている。 • スピーカーの右と左が逆に接続されている。 • スピーカーの⊕と⊖が逆に接続されている。 • フェダー、バランスの調整が片側に片寄っている。	• “接続のしかた”を見てフロント、リアの4スピーカーシステムにしてください。(➪ P.42) • “接続のしかた”を見て正しく接続してください。(➪ P.42) • フェダー、バランスをセンターに設定してください。

故障かな？と思ったら

●ディスクチェンジャー（別売）を接続しているとき

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
ディスクチェンジャーモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。(➪ P.8)
ディスク の演奏が始まらない	電源がオン になっていない。	SOURCEボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。
指定したディスクが演奏されない	• ディスクが異常に汚れている。 • ディスクが裏返しになっている。 • ディスクが 2 枚同じ場所に入っている。 • ディスクの入れた場所と指定 No. が違う。 • ディスクに大きな傷がある。 • ナビゲーションシステムでCD-ROMディスクを選択している。	• ディスクのクリーニングをしてください。 • マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 • マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 • マガジンをイジェクトして指定ディスクの No.を確認してください。 • 他のディスクを使用してください。 • ナビゲーションシステムで音楽CDに切り替えてください。
チェンジャー表示はするが音がでない	• 音量が最小になっている。 • アッテネーターがオンになっている。 • マイコンが正常に動作していない。	• 音量を適度に上げてください。 • アッテネーターをオフにしてください。 • 本機のリセットボタンを押してください。
ディスクチェンジャー1と2の音が重って再生される	ディスクチェンジャーのNo.スイッチが両方とも同じNo.になっている	1台をNo.1に、もう1台をNo.2に設定してください。
選曲動作をしても目的の曲にならない	トラック/マガジンランダムプレイがオンになっている。	トラック/マガジンランダムプレイをオフにしてください。(➪ P.30)

●システムの接続に異常があるときは以下の表示でお知らせします。

BUS-E01： BUSで接続されているTVモニターのMASTER/SLAVEスイッチがMASTERになっている。

BUS-E50： センターユニットが2台以上接続されている。

BUS-E11： DSPユニット（D707/X707）が2台以上接続されている。

BUS-W02： 接続されているディスクチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo.（1または2）になっている。
➪1台のディスクチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W08： 2台以上のTVモニターがBUSで接続されている。

EJECT ：ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。

NO DISC ：ディスクチェンジャーのマガジンにディスクが1枚も入っていない。

ERROR 04 ：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクにキズが多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●ディスクマガジンにトレイが入っていない。

BLANK ：演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。
➪ 次のMDを自動的に演奏します。

NO TRACK ：演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。
➪次のMDを自動的に演奏します。

READING ：ディスクのデータを読み込んでいる。
➪ディスクのデータを読み込みが終了すると通常に演奏できます。

ERROR 77 ：何らかの原因で正常に動作していない。
➪本機のリセットボタンを押してください。それでも“ERROR 77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

ERROR 99 ：●ディスクマガジンに異常がある。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➪ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも“ERROR99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

CD-ROM AREA ：CD-ROMデータ領域を再生している。
➪この表示中は音声が出ません。

H HOLD ：本機および接続しているCDプレヤー内部の温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➪取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

HOLD ：ディスクチェンジャー内部の温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➪取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

IN
点滅が続く

：●演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
➪録音されたMDに入れ替えてください。
●MDプレヤー部が正常に動作していない。
➪MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

保証とアフターサービス(よくお読みください。)

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買上げの日より **1 年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  (本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- **技術料**:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代**:修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比（dB）	75 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ

MDプレヤー部

レーザー	GaAlAs（ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm）
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400～800 rpm（線速度一定）
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (±1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比（dB）	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
チャンネルセパレーション	80 dB

オーディオ部

最大出力	40 W × 4
定格出力	25 W × 4 (4 Ω、30 Hz～20 kHz、1%THD)
プリアウトインピーダンス	600 Ω以下
トーン・コントロール（低音）	100 Hz ±10 dB
（高音）	10 kHz ±10 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）	1.5 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	4本
バインドネジ（M4 × 6mm）	1本
カードリモコン	1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335　　〒153-0042　東京都目黒区青葉台3-17-9

（大阪）電話(06)357-5335　　〒534-0024　大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）

（土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。）

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。